



全8回

Photoshop 完全マスター

①機能紹介編

目次

【課題】 Photoshop でバナーを作ってみよう！	2
(1) バナーって何？	2
(2) バナー制作の手順	3
(3) 材料を確認しよう	3
(4) メイン写真（モデルイメー）を加工する	4
(5) メイン写真（モデルイメー）を補整する	6
(6) 商品写真（置き撮り写真）を加工する	8
(7.) カラーバリエーションの作成（置き撮り写真を色加工する）	14
(8.) レイアウト	15
(9.) キャッチコピーを入れる	18

【課題】 Photoshop でバナーを作ってみよう！

(1) バナーって何？

WEB サイトや SNS 上でよく見かけるバナー。

パソコンやスマートフォンでバナーを見かけて思わずクリックしてしまった、という経験をお持ちの方も多いのではないのでしょうか。



バナーには元々「旗」「のぼり」「横断幕」といった意味があります。集客のための目印として WEB サイト上のあちこちで見かけますね。ユーザーがこのバナーをクリックすることでネットショップや WEB サイトへ導き、集客のための役割を果たしているのです。今回の課題ではこのバナー制作を通して、Photoshop の機能を学習します。

(2) バナー制作の手順

本来、バナーはいきなり制作からスタートするものではありません。
先にコンセプトやターゲットの設定、取材や撮影などが先におこなわれます。
今回は前段階が完了し、素材写真やキャッチコピーは揃った状態から始めます。



(3) 材料を確認しよう



フォルダ「sozai」の中に2点の画像ファイルが入っていることを確認しましょう。

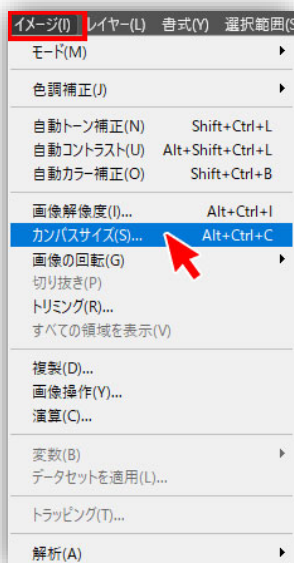
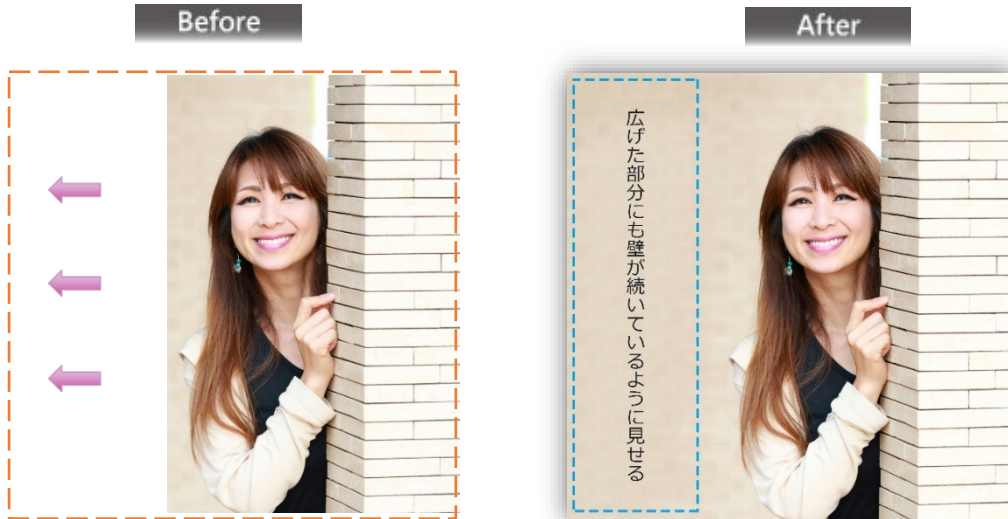
このファイルを Photoshop で開きます。

(注) 画像はダブルクリックで開くとフォトビューアやプレビューなど違うアプリが起動してしまう場合があります。
画像ファイルを右クリック → このアプリケーションで開く → Photoshop を選択するか、もしくは Photoshop から ファイル → 開く → 画像を選択 で開くことができます。

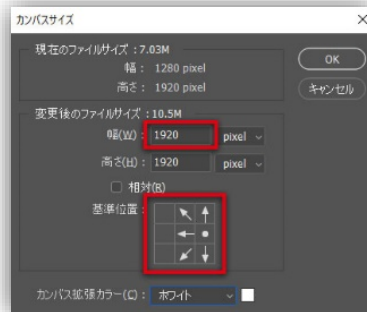
(4) メイン写真（モデルイメージ）を加工する

「sozai」フォルダの「main.jpg」をPhotoshopで開きましょう。

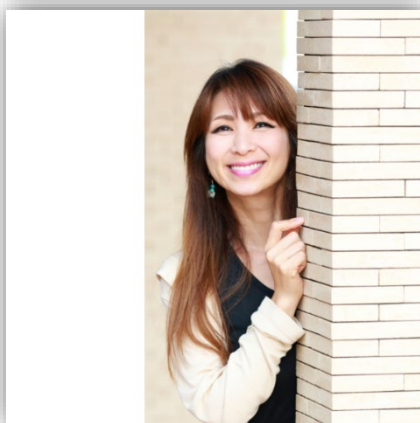
写真の幅を広げる ★キャンバスサイズの変更



モデル写真が縦長なので正方形に幅を広げます。
イメージ →キャンバスサイズ をクリックします。
キャンバスサイズ → 幅(W)の値を縦と同じ 1920px に設定します。



下の「キャンバス拡張カラーを
「ホワイト」に設定したらOKを
押します。

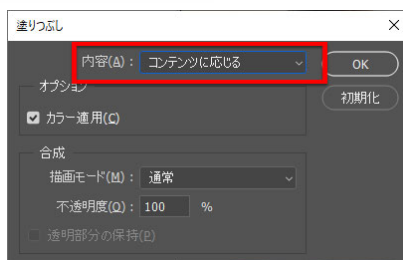
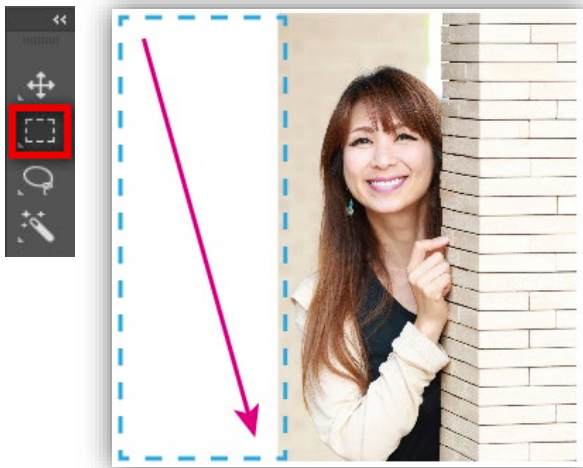


写真の左側が広がりました。
しかし広げた箇所が真っ白なままで不自然です。
広げた白い部分にもモデルの後ろの壁が続いて見えるように
加工しましょう。

写真の空白部分をコンテンツで塗りつぶす ★コンテンツに応じた塗りつぶし

広げた部分は壁が続いて見えるよう加工します。

長方形選択ツールで左側の白い部分をドラッグで選択します。



編集 → 塗りつぶし をクリックします。

内容 : を「コンテンツに応じる」に設定して OK を押します。



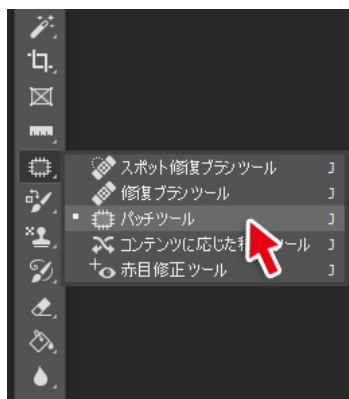
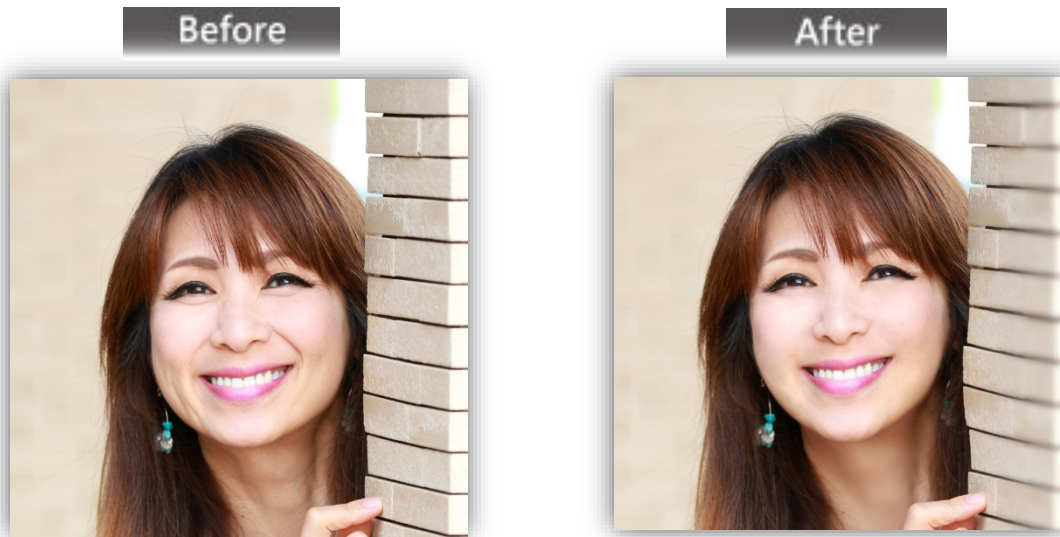
白い部分が壁と同じ色で塗りつぶされました。
これでバナーの土台となる部分が完成しました。

コンテンツに応じる

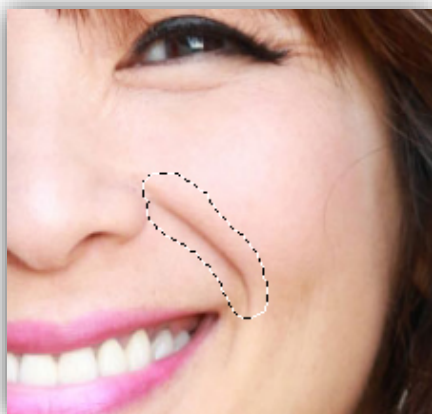
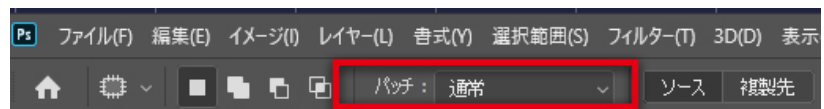
画像の選択部分を、画像の他の部分からサンプリングして隙間なく塗りつぶす方法。画像内の不要な箇所を塗りつぶしたり、特定の範囲を広げたりできる機能です。

(5) メイン写真（モデルイメージ）を補整する

人物の肌を補整する ★パッチツール



ツール → パッチツールを選択します。
プロパティパネルからパッチ： → 通常 を選択します。
(コンテンツに応じる) を使用する場合があります。



パッチツールで頬のしわが目立つ部分をかこむようにドラッグします。